

平成十九年度 理事会 評議員会 開催

事務局員二名が交代

(水)、文京区にある鳩山ビルにおいて、財団法人日本友愛青年協会、平成十九年第七十四回理事会・第六十七回評議員会が開催され、平成十八年度事業報告ならびに決算が承認された。

開催に先立ち、中川事務局長から事務局員の小松純子、山崎美加の両名が五月三十一日付けで退職する旨が報告され、新事務局員として羽中田元美、榎麻記子が六月一日付けで入局との報告があった。これに伴い、本会議に、新事務局員二名の同席の承認を求めて認められた。

開会にあたり、まず鳩山由紀夫理事長より挨拶が述べられた。

鳩山由紀夫理事長挨拶

「日頃より『友愛』の運営に最善を尽くしてくださっている皆様に、敬意と感謝を申し上げます。昨年は日ソ共同宣言調印五十周年記念で、さまざまな活動が行われました。この記念事業の締め括りとして、祖父一郎の銅像が音羽に建立され、新たな友愛のシンボルが出来たともいえるでしょう。言い換えれば昨年は、

開催に先立ち、中川事務局長から事務局員の小松純子、山崎美加の両名が五月三十一日付けで退職する旨が報告され、新事務局員として羽中田元美、榎麻記子が六月一日付けで入局との報告があった。これに伴い、本会議に、新事務局員二名の同席の承認を求めて認められた。

開会にあたり、まず鳩山由紀夫理事長より挨拶が述べられた。

鳩山由紀夫理事長挨拶

「日頃より『友愛』の運営に最善を尽くしてくださっている皆様に、敬意と感謝を申し上げます。昨年は日ソ共同宣言調印五十周年記念で、さまざまな活動が行われました。この記念事業の締め括りとして、祖父一郎の銅像が音羽に建立され、新たな友愛のシンボルが出来たともいえるでしょう。言い換えれば昨年は、

友愛の原点を見つめ直す年でもあったといえます。

今年は、また新たに有章義な活動が出来るよう、皆様のご協力をお願いしたいと思います」

この後、議長に選出された鳩山由紀夫理事長の謹事進行で、一、中国植林における訪中団の活動。並びに広西チワン族自治区鹿さかい小学校への『友愛図書室』の寄贈。二、JICAよりの青年受け入れ活動。三、友愛ドリツク歌曲コンクール実施。優勝者のオーストリニア派遣、およびオーストリニアからの青年の受け入れ。四、記念事業としての訪団の活動。五、機関紙『友愛』の発行などが報告され、すべての活動に対しして承認を得た。

決算報告の後、奥住、田辺両監事より、会計監査の結果遺漏が無い旨報告が行われた。これを受けて、今員が十八年度決算を承認した。また、奥住監事より財団法人の法改正に向かって、新会計報告形式で報告書が作成されている旨報告があった。

すべての議事を終え、定刻通り終了した。

「友愛」外廻り

その成果が上がるにつれて、他の地域にも設置しようととの機運が起り、十三ヶ所開設するまでに至った。中央も当初の米軍キャンプの改修から新しい施設となり、全国に国立青年の家を、野外キャンプ場二ヶ所を付設した。

国立青年の家は昨今、独立法人として、再出発をしている。

研修は、規則が厳しく、朝六時起床、朝食参加、夜十時就寝、酒は禁止だった。われわれは、主として海外派遣の青年の事前研修に携わったが、その中で、海外におけるマナーが大きな課題であった。

生活習慣が違うので、一応大人に気をつけるが、日本人として誇りを持ち、行動すればそれで良い。日本人が前に「日本を知ること」が大切。この一点の講話が、未だに印象に残る。

ドイツの青年たち

東京オリンピックの青少年（西）に参加したドイツ（西）の青年たち百余名の、富士山を見たとの熱望に応えて、富士の麓にある青年の家に、一泊二日のツアを行った。

ところが、結果は誠に評判が悪く、失敗に終わった。その当日と、翌日の二日にはたつて、生憎暑い空が続いた。待望の富士を眺められなかつた。彼らの張りよりも、富士を見るツアーノので、主催者はあらかじめ気象庁と連絡を取り、富士の見える日程を決めるべきだという。

言わせてみると、まったく誤りともであつた。なお悪いことは、青年の家はアルコール禁止でビールを水代わりに飲む匡民性からおして、認めがた規律となり、「アウェイヴィツツ」以上だと、悪評となつた。

彼らの偉いところは、日を改めて自ら気象庁と連絡を取り、自分たちでバスを契約して、再度富士山に行きを実行した行動力である。

友愛の会員から国立青年の家の所長は、早川忠光さん（七十五歳）である。

その頃は、青少年の宿泊施設は少なく、しかも当時の青年の憧れの地「軽井沢」の環境も手伝つて、研修は勿論、ユースホステルも兼ねていたので、一般的の若者も大勢宿泊した。

彼は、施設の運営や、山庄の経営、本来の教育研修の全てを、一人で全うした。彼は、本格的な山庄の管理者を志して、ドイツに渡り、ユーロントヘルベルク（ユースホステル）に助手として、確か三年ほど働いて、宿泊する各国の青少年の世話をした。

日本は帰つてから、文部省の委託を受けて、地方の県立青年の家（浜名湖）の所長として、開所の手ほどきをして、いたが、文部省に入り、各地に出来た国立青年の家の指導職員として働いて、最後に九州に誕生した「阿蘇国立青年の家」所長として有終の美を飾つた。阿蘇で語り合うときをもてたのが懐かしい。



世界青年の船」に乗れる!!

成城大学 山手 絵里加

総理府が募集する「世界青年の船」は、日本人青年と、外国人青年が四十日間船内で共同生活をしながら、インド、オマーンを訪問、まさに生きた国際交流の場である。

この企画に、日本友愛青年協会推薦の山崎絵里加さんの参加が決まった。

山崎さんの、出発前の抱負をここに紹介し、充実の四十日間に、大きな声援を贈りたい。

国際交流への思い

私は学生時代、積極的に国際交流を行ってきた。

具体的には、日本語学校の留学生との交流や、印度ネシア人に対し東京を案内するといったことなど、大学生として出会えた機会を活用した。そして昨年は、日本友愛青年協会で実施された、鳩山一郎先生の「日本共同宣言記念事業」での訪日団に参加し、モスクワ大学で、現地の学生達との交流の機会をもつことができた。しかし出会いの楽しさ、新しい発見や驚きなど、多くのことを得ることができた。こういった経験から、もう少し深い互いを理解するこ

とができるようになつた。しかしながら、自分自身が知った日本の食にまつわる文化の知識を活かして、日本文化を紹介できた。相手の文化や現状につい

てができる国際交流を体験したいと思うようになつた。それは同時に、自らの視野を広げることとなり、私自身の成長に繋がると考えたからだ。

日本友愛青年協会からの推薦をいただいて、無事、「参加者の一人に決定した」との連絡を総理府から受けた時は、本当に驚いた。同時に、学生生活最後の締め括りが、自分の一番やりたかったことが実現出来るとわかり、とてもうれしかった。

三つの目標

参加するにあたって、私は三つのことをしたいと考えている。一つ目は、日本文化を紹介すること、二つ目は、同時に相手国の文化や現状を知ること、そして、長い時間共に過ごすのである仲間、訪問した国々で出会う、様々な人の交流や意見交換を通じて自らの視野を広げることである。

日本文化としては、ロシアン音楽鑑賞する度に、人に喜んでもらうことの嬉しさを感じ、人に伝えることの難しさを痛感した。しかし出会いの楽しさ、新しい発見や驚きなど、多くのことを得ることができた。こういった経験から、もう少し大きなフィールドで、より深く互いを理解するこ

とは、事前に勉強しつつも、何より現地で、会った方から直接、相手国の青年の声を聞くことが一番大切だと思う。それが結果より深く互いを理解することに繋がると思う。また、自身も幅のある人間に成長できたら、と考えている。

視野を広げる点については、真摯に相手の意見を聞きながら発言することで相互理解が促進され、共同作業による一体感の醸成と併せて多くのことが学べると思っている。

準備期間を大切に

実際、参加できることが決まってから、日々を追う毎にうれしさが増してくる。来年の一月の出発までまだ時間はあるが、準備を整え、「世界青年の船」ではより多くの経験を得られるよう努めていきたいと考えている。

十八年度事業報告

平成十八年度の事業報告が行なわれ、一、文京区男女平等センターで行なわれ、「世界青年の船」では、みずみずしい緑に包まれ、ロシアから寄贈された建物、「鳩山一郎先生の銅像」の金色が、一段と立ちました。邦夫先生のご挨拶を終りました。

十八年度事業報告が行なわれ、「世界青年の船」では、みずみずしい緑に包まれ、ロシアから寄贈された建物、「鳩山一郎先生の銅像」の金色が、一段と立ちました。邦夫先生のご挨拶を終りました。

活動の中でも、婦人会ラダンスチーム（レイ・リラダンスチーム）による「ゆしまの郷老人ホーム」への慰問公演が、特技として「御神楽」のさわぎかけを作つてくださいました。

活動の中でも、婦人会ラダンスチーム（レイ・リラダンスチーム）による「ゆしまの郷老人ホーム」への慰問公演が、特技として「御神楽」のさわぎかけを作つてくださいました。

◆童話「泣いた赤鬼」に、このため、「軽井沢友愛山荘」では、ゴミ処理に細かい基準を設け、厳しい姿勢で取り組んでいます。

◆入局一ヶ月があつて、赤鬼が村人と友達になりた

て、とても嬉しく思います。皆様のお元気なお顔を見ます! 滞りなく第一部の予定をするつけ、今日の雨上がりの庭のように清々しい気持ちになります。これからもよろしくお願ひします!

第二部懇親会

一期会所属のテノーラン歌手の晴らしの歌声で「涙情歌」が披露され、皆様その歌声に魅了されたことでござります。

また、駒込支部の方々による別館でのお茶席のおもてなしもあり、すがすがしい緑のなか、皆様おくつろぎのひと時を過ごされました。

◆友愛青年同志会発足以来五十数年を経過し、その間の数々の活動は、機関紙「友愛」や会合でご承知のことと思います。

第三回としての歴史をもつ軽井沢は、夏が近づくにつれ、訪ねる人が多くなっています。「軽井沢

は緑に包まれています!

場一致で承認されました。滯りなく第一部の予定を終了し、昼食を交えた第二部となりました。

二期会所属のテノーラン歌手の晴らしの歌声で「涙情歌」が披露され、皆様その歌声に魅了されたことでござります。

また、駒込支部の方々による別館でのお茶席のおもてなしもあり、すがすがしい緑のなか、皆様おくつろぎのひと時を過ごされました。

◆友愛青年同志会発足以来五十数年を経過し、その間の数々の活動は、機関紙「友愛」や会合でご承知のことと思います。

第三回としての歴史をもつ軽井沢は、夏が近づくにつれ、訪ねる人が多くなっています。「軽井沢

は緑に包まれています!

◆友愛青年同志会発足以来五十数年を経過し、その間の数々の活動は、機関紙「友愛」や会合でご承知のことと思います。

第三回としての歴史をもつ軽井沢は、夏が近づくにつれ、訪ねる人が多くなっています。「軽井沢

は緑に包まれています!

第三回としての歴史をもつ軽井沢は、夏が近づくにつれ、訪ねる人が多くなっています。「軽井沢

は緑に包まれています!

◆友愛青年同志会発足以来五十数年を経過し、その間の数々の活動は、機関紙「友愛」や会合でご承知のことと思います。

第三回としての歴史をもつ軽井沢は、夏が近づくにつれ、訪ねる人が多くなっています。「軽井沢

は緑に包まれています!

◆友愛青年同志会発足以来五十数年を経過し、その間の数々の活動は、機関紙「友愛」や会合でご承知のことと思います。

第三回としての歴史をもつ軽井沢は、夏が近づくにつれ、訪ねる人が多くなっています。「軽井沢

は緑に包まれています!

第三回としての歴史をもつ軽井沢は、夏が近づくにつれ、訪ねる人が多くなっています。「軽井沢

は緑に包まれています!